

# ボーイスカウト横浜1団

## ビーバー通信

5月のテーマ「みなと よこへはま～♪」



### 5 がつ 10 にち (にちようび)

ないよう 「グリフィンさい」  
ボーイスカウトのれきしをまなぼう

しゅうごう 9じ  
ちかてつぐみようじえき  
ばしょ がいじんぼち  
もちもの ビーバーノート  
すいとう



### 5 がつ 24 にち (にちようび)

ないよう 「たいしゅうかい」  
まちをたんけんしよう

しゅうごう 9じ  
おおはしちょうないかいかん  
もちもの ビーバーノート  
すいとう



まきむすび



父母の方へ (隊集会プログラムの詳細はメールで連絡いたします。  
事情によりビーバー通信と内容異なることございます)

日本のボーイスカウト創始者のお墓まいりです。  
横浜1団は同名なのですが、昭和21年創設です。

## 【グリフィン祭】

日本のボーイスカウトは、イギリス人クラーレンス・グリフィン氏が、横浜で外国人の17名の少年によって1911年（明治44年）に最初に組織され、翌1912年に、ベーデン・パウエル氏がミネソタ号で日本訪問の為、横浜に入港した時、グリフィン氏の率いる横浜第1団ボーイスカウト隊は小船で出迎えました。

1918年（大正7年）には、ブラザー・ジャニング氏がセントジョセフの学生により国際第1隊を、1921年（大正10年）には、劉満章氏が志成中学の生徒により童子軍を、1924年（大正13年）には、笹川幹氏がロンドン留学時のスカウト生活をもとに横浜本牧少年団を組織しました。

グリフィン氏は 1951 年（昭和 26 年）に帰らぬ人となりましたが、その遺言は「私の財産全部を日本のボーイスカウトに寄付する。葬式は花輪もいらないし、一番簡単にしてもらいたい。ただ遺骨はボーイスカウトの手で埋めて欲しい」というものでした。グリフィン氏は今も山手の外人墓地に眠っています。

※現在の横浜1団は大正15年に「横浜海洋少年団」が創設され、その後昭和16年に「Y校海洋班」、昭和21年にモデル隊として「ボーイスカウト横浜第一隊」となり現在に至っています。

連盟歌はよく歌われます。カブに上進する前までに歌えるようにしましょう。

1 花は薰るよ 花の香に  
　　日は輝くよ 日の光  
　　我等に名誉の重きあり  
　　薰りか光りか ああ名誉  
　　名譽 名譽 重きぞ名誉  
　　フレ フレ フレ

2 スカウト我等の 名誉ぞ重き  
　　眼開きて見極めよ  
　　耳そばだてて 聞きただせ  
　　我等に不斷の準備あり  
　　手足に心に ああ準備  
　　準備 準備 固きぞ準備  
　　スカウト我等の 準備ぞ固き